こんなときオスラー
『平静の心』を求めて

平島　修，徳田安春，山中克郎（著）

獨協医大主任教授・総合診療医学
志水太郎

ドラマティックが止まらない！ オスラー先生のきら星のような名言

本書は医学書院『総合診療』誌の同名の連載の単行本化である．近代医学・医学教育の先駆者であり，ジョンズ・ホプキンズを創設した“Big 4”の１人でもあるウィリアム・オスラー医師の言葉には，年代を感じさせない貫通力がある．オスラー先生のきら星のような名言の数々は，臨床や後輩指導のさまざまな現場に直面したときにこそ「ハッ」と思い出され，あらためて胸に刺さるものが多い．本書の魅力を語るには，やはり書中のオスラー先生の言葉を記載することがベストだろう．

平静の心：「穏やかな平静の心を得るために，第一に必要なものは，周囲の人達に多くを期待しないことである．（中略）仲間の人間に対して，限りない忍耐と絶えざる思いやりの心を持つ必要がある」（p. 3）

師弟について：「師の言葉によってではなく，師の生活そのものが若い弟子の人格を形成するのである」（p. 177）

同上：「望ましい教師とは，自分の専門分野の世界的に優れた研究に精通しているのはもちろんのこと，自らの理念を持ち，それを実行に移す覇気と活力の持ち主でなければならない」（p. 168）

生涯教育について：「まず第一に，超然の術（art of detachment）を早い時期に身につけていただきたい．それは，若さにつきものの娯楽や快楽から自らを隔離する能力を意味する」（p. 17）

同上：「卒後の教育心を刺激させ，維持させるのに，少なくとも３つのことが必要である．ノートブック，図書館，それに５年毎の脳の塵払い……」（p. 166）

研修医教育について：「医師にとって，科学的訓練[註]は計り知れないほどの貴重な贈り物であって，それは正確な思考習慣を身につけさせてくれ，精神を鍛えて物を疑いの目で見るという識別・判断力を養う．その能力が身について初めて，医師は診療の不確かさの中にあって賢くなり救われる」（p. 31）

註）科学的訓練：担当する患者の診断・治療・予防に関する情報を書籍・電子媒体から集め，実際の患者に適応できるか，あるいは教科書との違いは何かを，照らし合わせながら経験すること（平島先生注釈）．

看護師向けに送られた言葉も，医師として感じるものが多い．

看護師について：「あなた方の知識の光に明かりをそえるのに，秘法の七つの徳があります．気転，清潔さ，寡言，思いやり，親切さ，明るさ，これらのすべては，慈愛（Charity）によってつながっているものです」（p. 176）

このように，医学教育上の多くの側面において，鋭利で科学的な直言を残すオスラー先生の注釈本，それが本書である．山中克郎先生，徳田安春先生，平島修先生という，日本を代表されるベテランから若手の総合診療医の先生方の目線で解釈されたオスラー先生の言葉は，より身近に，より多くの若者に読まれ，その結果，読者の医師人生にドラマティックな変化を与えることだろう．

●A5/頁 200/2019 年
定価：本体 2,400 円＋税
［ISBN978-4-260-03692-4］
医学書院 刊

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2019

2026/10/11 05:46:31